

令和6年度 浅間台地域ケアプラザPDCAシート_公表用（事業計画書、事業報告書、事業実績評価用）

一総括表一

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

- ・ケアプラザの役割をより多くの人に知ってもらい、子どもから高齢者まで利用しやすい身近な地域の活動拠点となるよう取り組んでいきます。
- ・高齢化率も高くなっているため、高齢者が活躍できる場や認知症になんでも安心して暮らせるまちづくりを目指していきます。

今年度の重点的な取組

新規	継続	具体的な取組内容
<input type="checkbox"/>	■	認知症の人にも優しいまちづくりを目指し、多角的視点から課題抽出を継続していきます。 Nカフェ「認知症カフェ」の開催や一般・企業向け認知症センター養成講座の開催。エリア内のカフェや通いの場をつなぎ、認知症に対する偏見をなくし正しい認知症の理解を地域に広めていきます。
<input type="checkbox"/>	■	顔の見える関係づくりを大切にした地域活動への参加、情報提供や活動報告等のため広報紙の発行、自主事業等の開催でケアプラザの周知や相談機能の啓発を継続します。
<input type="checkbox"/>	■	地域の身近な場で、地域住民との協働によるサロンなど、多世代が交流できる介護予防や社会参加、生活支援の充実を目指します。 活動の周知や社会参加への情報発信、地域の見守り活動、つながりづくりの支援、地域サロンへ高齢者の社会参加、介護予防、居場所等、地域の活動を創出することに努めます。
■	<input type="checkbox"/>	地域の様々な関係機関との顔の見える関係づくりと、地域住民、関係機関との連携・協働による見守りやつながりづくり等、より一層進めています。
<input type="checkbox"/>	■	ケアプラザ祭りや事業を通して子どもから高齢者まで一人ひとりの活躍できる場をつくっていきます。

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

- ・今年度はエリア内のカフェや通いの場を繋げる場を開催し、認知症カフェに関する理解を広めていただくことに力をいれました。来年から浅間台ケアプラザエリアのチームオレンジとして、新たな集える場の創出に向け活動準備中です。
- ・ケアプラザの周知活動として、毎月広報紙を発行し情報提供や活動報告を行いました。また地域の行事等には積極的に参加させていただき、横浜市のケアプラザのリーフレットと5職種の紹介カードを作成、配布し、機能の周知とともにより気軽に相談いただけるよう努めました。
- ・シニアボランティアポイント登録研修会の開催し、ボランティア活動へのきっかけづくりやお祭りや多世代交流の機会をつくり、幼児の方からシニアの方までご活躍いただきました。

区からのコメント

(全事業共通事業)

- 積極的なアウトリーチや多様なニーズに合わせた情報発信(SNS等の活用)により、「身近な地域の相談窓口機能」を、たくさんの地域住民へ周知することにご尽力いただきました。引き続き、誰も孤立させない地域を目指して、相談機能の周知に取り組んでいただくことを期待します。
- にこまちプラン地区別計画の推進や次期計画策定について、地域ケアプラザ・区社会福祉協議会・区役所の3者で連携しながら、地区支援に取り組んでいきたいと思いますので、引き続き、どうぞよろしくお願いします。
- 各エリアの様々な居場所等を支援されていることで活発な地域活動が維持されています。今後も引き続き、多職種によるアセスメントを通じた高齢者の健康維持や生活維持に、多様な主体による資源の活用も視野に入れながら、地域で高齢者を支える取組がより一層推進されることを期待しています。

(地域包括支援センター)

- 令和7年度より本格実施となるチームオレンジの取組の充実のため、本人・家族の困り感の現状を捉え、地域で必要な支援について丁寧に検討いただき、理解の推進に努めていただきました。介護予防の視点でも、今年度区域のテーマとして取り組んだ低栄養予防について、民間企業との連携のもと、先進的な取組を行っていただき、感謝しています。また、地域ケア会議の機会を活用し、地域住民の方との丁寧な意見交換を行い、見守り等の取組の充実につなげていただきました。

今後も、地域住民、関係機関との連携・協働による見守りやつながりづくり、新たな場の創出等、地域づくりが一層推進していくことを期待しています。